

# 共通テストリスニング

## 出題に関する最新情報

2021年10月現在



### 🔍 出題形式

まずは、共通テストと2020年度センター試験を比較してみましょう。

	共通テスト (2021年度本試験)				センター試験 (2020年度本試験)			
	全問マーク式	解答数	配点	放送回数	全問マーク式	解答数	配点	放送回数
解答時間	30分	37	100		30分	25	50	
第1問	短い発話	7	25	2	短い対話	6	12	2
第2問	短い対話	4	16	2	短い対話	7	14	2
第3問	短い対話	6	18	1	少し長め・長めの対話	6	12	2
第4問	モノローグ	9	12	1	長めのモノローグ・討論	6	12	2
第5問	長めのモノローグ	7	15	1	—			
第6問	長めの対話・議論	4	14	1	—			

#### 共通点

- ✓ 全問マーク式
- ✓ 解答時間30分

#### 相違点

- 共通テストは
- ✓ 配点が100点に
  - ✓ 大問数が増加
  - ✓ 放送回数が1回の問題も出題

リスニングテストでは、上記の「相違点」にあるとおり、大問数が増加した上に「1回読み」の問題が加わりました。これまでよりもいっそう高度な聞き取り能力が試されます。新しい試験が導入された初期には、細部での形式変更が生じるかもしれません。多少の変化にも対応できるだけの入念な準備が必要です。まずは「満点のコツ」で、英語を聞き取る力をしっかりと鍛えましょう。

## 2021 年度本試験の出題内容

		詳細	放送英文の内容 (第1日程)	放送英文の内容 (第2日程)
第1問	A	短い発話を聞いて同意文を選ぶ		
	B	短い発話を聞いて内容に近いイラストを選ぶ		
第2問		短い対話と問いを聞いてイラストを選ぶ		
第3問		短い対話を聞いて問いに答える		
第4問	A	モノローグを聞いて図表を完成させる	学生の学外での活動・DVDの割引率	4都市の夏と冬の気温変化・バスの運行予定変更のお知らせ
	B	複数の情報を聞いて条件に合うものを選ぶ	ミュージカルの評価	インターン先の選択
第5問		講義の内容と図表の情報をを使って問いに答える	デンマークの幸せな暮らし方・仕事と生活のバランス	生態系保全におけるブルーカーボン生態系の潜在力・生態系別の有機炭素貯留量比較
第6問	A	対話を聞いて要点を把握する	留学での滞在先	手書きの手紙についての賛否
	B	複数の意見を聞いて問いに答える	レシートの電子化	選挙の投票に行くかどうか

## 問題設定・英文の種類

共通テストでは、大学進学後の生活や講義などの学生生活に関連した場面設定が多く見られました。イラストや表、グラフを伴う問題はセンター試験にもありましたが、数は多くなっています。また、「放送を聞きながらメモをとり、内容を比較して解答する」、「放送内容で直接述べられていないが関連する資料を選ぶ」など視覚情報の使われ方がより高度になっていると言えます。会話では、登場する人物がセンター試験では最大で3人でしたが、共通テストでは4人による会話もありました。いずれの変化も、受験生が実際に経験しそうな場面、実生活に近い状況を設定したものと考えられます。実用的な英語が身についているかどうかが問われていると言えます。

## 問題の分量

解答時間は30分で、センター試験から変更はありませんが、聞き取る英文の量は増加しています。解答時間が同じなのに量が増えるのは、1回しか読まれない問題があるからです。1ページ目の「出題形式」の項に挙げた表にあるとおり、長めの英文が1回読みだということに注意が必要です。

## 難易度

聞き取る英文の総量が多くなっていることに加え、Questionが問題冊子に書かれておらず放送で聞き取る問題や、1回の放送で必要な情報を聞き取らなければならない問題が含まれていることから、これまでより難しいと感じる人が多いでしょう。また、聞く、メモをとる、内容を比較・判断するという、複数の作業を同時に行うことも求められます。

しかし、現実の生活を考えると、日常会話に繰り返しはなく、話はどんどん進んでいきます。講義でも繰り返しはなく、先生の話聞きながらノートを取り、授業内容を理解するという複数作業が必要です。「実用的な英語の力」が求められるということが、内容面だけでなくこうした出題形式にも現れているのです。つまり、日本語で日ごろ行っていることを、英語でも求められていることになります。

以上のことから、センター試験よりも難度は高くなっていると言えます。

## プレテストとの違い

リスニングは、共通テストに向けて2017・2018年度に行われたプレテストとほぼ同じ形式でした。過去問がまだ1年分しかないので、独特な形式に慣れるためにプレテストも練習に利用できます。またセンター試験の問題も、同形式・同レベルのものがたくさんありますので、大いに活用しましょう。



「満点のコツ」は  
差がつく問題を掲載  
しているから、効率  
よく学習できるよ！

